

科目名	アドバンスレッスン 1							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	西川進・南慶樹・河原レオ・BAN・丸木美 花・大野元毅・柴徳昭	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲 家		
【科目の目的】 プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。 1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。 座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々が能動的に考えられるように、各 授業の講師が手助けをしていく。 前期発表会でフルコーラスの楽曲を作成すること、卒業制作用の楽曲の制作を目標とする。									
【科目の概要】 音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやコンテスト等に積極的に 参加。 音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。									
【到達目標】 A. ノンダイアトニックを用いながらコード進行を作成できる B. メロディを作成できる C. 楽曲のミックスができる D. 楽曲のアレンジができる E. フルコーラスのボーカル楽曲を作成できる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めな い。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	機能を考えた上ですべての コード進行を自分で作 成できる			講師の手を借りてコード				到達目標についてさらなる 努力が必要	
到達目標 B	全てのメロディを一人で 作成できる			講師の手を借りてメロ ディを作成できる				到達目標についてさらなる 努力が必要	
到達目標 C	適切なボリュームバラン スを設定し、用途を言語 化できる上でエフェクト を使うことができる			ボリュームバランスが取 れるがエフェクトは掛け 方が分からない。				到達目標についてさらなる 努力が必要	
到達目標 D	4rhythmアレンジがで き、更に楽器を足したア レンジができる			4rhythmアレンジがで きる				到達目標についてさらなる 努力が必要	
到達目標 E	ボーカルRECを行った上 でフルコーラスの楽曲を 作成できる			ガイドメロでフルコーラ スの楽曲を作成できる				到達目標についてさらなる 努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。 60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、 授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2026
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	個々のレベルをチェック 自己紹介	1 プレゼンテーション	自分の考えを大勢の前で発表できるようになる	3	
			2 講師評価	講師からのアドバイスで新たな知見を得ることができる		
			3 目標設定	やりたいことを言語化し、明確にすることができる		
2	ミックス①	モジュレーション	1 モジュレーション系FXの種類	該当エフェクトの種類を知ることができる	3	
			2 各種パラメータ	各種パラメータについて理解できる		
			3 各種エフェクトの使い道	各種エフェクトの使い道を理解できる		
3	課題曲③	楽曲の構成を理解する	1 メロのリズム	メロのリズムについて理解する	3	
			2 メロディ	メロディについて分析できるようになる		
			3 楽曲の構成	楽曲の使用楽器、コード進行を理解する		
4	課題曲③	ドラムの打ち込み	1 応用①	パーカッションについて理解する	3	
			2 ビート③	パーカッションを交えたビートを理解する		
			3 フィル③	セクション間のフィルについて理解する		
5	課題曲③	ベースの打ち込み	1 応用①	シンセベースの音域に関して理解する	3	
			2 奏法③	シンセベースの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ③	シンセベースのフレーズについて理解できる		
6	課題曲③	ギターの打ち込み	1 応用①	ギターの音色に関して理解する	3	
			2 奏法③	ギターの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ③	ギターの応用的フレーズについて理解できる		
7	課題曲③	ピアノの打ち込み	1 応用①	ピアノの音色に関して理解する	3	
			2 奏法③	ピアノの応用的な奏法に関して理解する		
			3 フレーズ③	ピアノの応用的フレーズについて理解できる		
8	課題曲④	楽曲の構成を理解する	1 メロのモチーフ	メロのモチーフを考えられる	3	
			2 拍子	4/4拍子以外の拍子を理解する		
			3 楽曲の構成	楽曲のジャンル、編曲を理解する		
9	課題曲④	ドラムの打ち込み	1 応用④	ドラムキットの音色について理解する	3	
			2 ビート④	ゴーストノートを理解する		
			3 フィル④	応用的なフィルについて理解する		
10	課題曲④	ベースの打ち込み	1 応用④	ベースのエフェクトに関して理解する	3	
			2 奏法④	ベースの応用的な奏法に関して理解する		
			3 フレーズ④	ベースの応用的なフレーズについて理解できる		
11	課題曲④	ギターの打ち込み	1 応用④	ギターのエフェクトに関して理解する	3	
			2 奏法④	ギターの応用的な奏法に関して理解する		
			3 フレーズ④	ギターの応用的なフレーズについて理解できる		
12	課題曲④	エレキピアノの打ち込み	1 応用④	エレキピアノの音域に関して理解する	3	
			2 奏法④	エレキピアノの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ④	エレキピアノのフレーズについて理解できる		
13	課題曲④	ストリングスの打ち込み	1 応用④	ストリングスの編成に関して理解する	3	
			2 奏法④	ストリングスの応用的な奏法に関して理解する		
			3 フレーズ④	ストリングスの応用的なフレーズについて理解できる		
14	発表会準備	前期発表会に向けて楽曲を仕上げる	1 メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる	3	
			2 ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3 アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	前期発表会	前期で作った楽曲の発表 (フルコーラス)	1 プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる	3	
			2 知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3 講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等